

草の根・人間の安全保障無償資金協力

令和元年度
「デッサ県カパラムラ小学校教室建設および修繕計画」

完工式

2020年11月12日



テープカットを行う岩切大使、ウィリマ教育副大臣およびオナニ地元選出国會議員



スピーチを行う岩切大使と（左）とウィリマ教育副大臣（右）



（左）新教室内を視察する岩切大使、ウィリマ教育副大臣およびオナニ地元選出国會議員
（右）設置された机の視察を行う岩切大使とウィリマ教育副大臣



(左) 感謝と喜びの歌を披露するカパラムラ小学校スタッフと関係者
(右) 日本政府への感謝を込めて踊りを披露する地域女性グループ



新たに建設された6教室(左)と改修された既存4教室(右)

2020年11月12日、マラウイ国中部デッサ州カパラムラ小学校にて、草の根・人間の安全保障無償資金協力「デッサ州カパラムラ小学校教室建設および修繕計画」の完工式が行われました。式典には、ウィリマ教育副大臣も列席し、関係者が祝辞を述べました。

同年2月、日本政府は、草の根・人間の安全保障無償資金協力プロジェクトを通じて、カパラムラ小学校に90,215米ドルを贈与しました。この資金を通じて、新たに6教室の建設、既存4教室の改修および児童用机300台を設置しました。さらに、貯水タンクを設置して衛生のニーズに対応します。

式典で岩切大使は、美しい教室の完成に喜びを表明するとともに、合意された期間内に質の高い建設が行われたことに対して、カパラムラ小学校および建設会社に賛辞を述べました。また、同国の成長と発展に不可欠な人材育成の基盤作りにおいて、初等教育は重要であることを強調しました。

また、子供たちに適切な学習環境を提供できなければ、この国の発展にも大きな影響を及ぼすことに言及し、本プロジェクトは、小学校に適切な教育環境を提供することで、児童の成績向上および教員の意欲向上に寄与すると述べました。

大使はさらに、良い教育施設があっても、適切な教材がなければ成績向上への効果が期待できないことを指摘して、教育省および関係者に今後の支援を要請しました。